

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、平成 28 年度日本陸上競技連盟規則及び本大会規定を適用する。
 2. 招集について
 - ・各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。
招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。
招集完了時刻に遅れた者は、その競技への出場資格を失う。
 - ・選手は、招集完了 5 分前には、必ず選手招集所内で待機し、競技者係より最終点呼を受け、ナンバーカードの点検・確認を受けること。
 - ・招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
代理人による招集は一切認めない。また出場選手以外の招集所への立入りを禁止する。
2 種目以上を同時刻に兼ねている選手は、あらかじめその旨を招集所に申し出ておかなければならない。
 3. 招集所は、第 4 ゲート付近の場外に設ける。
 4. 場内司令について
 - 選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。
また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。
 5. フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。
小学生走幅跳の試技数は 3 回とする。
 6. リレーオーダーは、1 2 時までに所定の用紙に記入し記録室に提出すること。
(用紙は受付時にプログラムと一緒に受取ること。)
オーダー表提出後に変更がある場合は、招集完了 1 時間前までに記録室までに申し出ること。
 7. トラック競技のスパイクシューズは、全天候舗装用ピンの長さ、9mm 以下を用いること。
 8. 投擲練習は、係員の指示に従い行うこと。
 9. 砲丸・円盤の重さはプログラム記載とおりとする。
投てき用具については、競技場備え付け用具を使用する。
 10. 走高跳のバーの上げ方は、当日の選手の状態を見て決定する。
 11. 小学生の短距離のスタートはスタンディングスタートを認めます。
 12. 小学生ジャベリックボール投の、試技は全員 3 回で、場所はやり投ピット（投てき角度もやり投同様）
助走は 15m 以内とする
 13. 表彰は、各種目 3 位までとする。各自本部まで取りに来ること。
但し、学校等の団体においては、全競技終了後一括して渡す。
 14. 使用するナンバーカードについて
ナンバーカードの数字は、審判員がはっきり読みとれる太さにすること。
和歌山陸上競技協会登録ナンバーカードを使用すること。
ナンバーカードの無い競技者については、主催者より貸し出す。
貸し出したナンバーカードは競技終了後速やかに受付まで返却のこと。
- お願い 各団体においては審判員を 1 名以上出してください。

ご注意

競技場内でのトラブル防止のため、荷物などは各自・各団体で責任を持ち十分管理して万が一トラブルに遭われても、主催・主管者としては一切責任を負いません。

退場するときは後片付けをし、ゴミは必ず持ち帰って下さい。